

十二月月浪能特別会

十二月十一日(日)
午後一時始

正午開場
於宝生能楽堂

演目の解説

通小町

ツレ當山 淳司
シテ辰巳満次郎
杖ノ型

ワキ 高井 松男

大鼓 柿原 弘和
小鼓 幸 正昭

笛 寺井

義明

後見

東川 亀井 保雄
内藤 光夫 飛能

地謡

高橋 戴 克徳
小林 晋 憲正
水上 優也

佐野 小 野 今 月 井 林 野 与 泰 志 聡 行 郎 登

福の神

三宅 右近

高澤 三宅 右 祐 介 矩

定家

由於

ワキ 森 常好

大鼓 佃 良勝
小鼓 大倉 源次郎

笛 松田

弘之

ワキツレ 館田 善博
梅村 昌功
問三宅 近成

地謡

東川 野 尚 弘 史
佐野 庄 太郎 宜
和久 茂 人

金 田 喜 美 隆 雄 三
大 坪 崎 井 喜 崇 生

後見

中村 孝 俊 樹
朝倉 宏 司
澤田 隆 晋
金 森

乱

シテ辰巳大二郎

後見

宝生 和 英
小倉 健 太郎

ワキ 則久 英志

大鼓 柿原 光博
小鼓 森 澤 勇 司

太鼓 桜 井

次郎 均

地謡

金 野 良 充
佐野 玄 宜
小倉 伸 二 郎

高 橋 高 森 橋
藤 井 秀 祥 巨
大 友 順 之 郎

能「乱」(みだれ)
風行の楊子の市で酒を売る孝行の酒を男
高麗名をいづるに酒を飲
一狸も名を尋ねるとち寄る高
め江も尽きと答ぬ壺を海に
風江の来ぬ酒を壺とて高陽
が瀧を舞う待つて去るとま
す上り風を舞う待つて去ると
の波始は高舞を待つて去ると
をのま高舞を待つて去ると
そい、ら能れ瀧を舞う待つて去ると
遣が、か。現江も尽きと答ぬ壺を海に
り足舞ろすが風江の来ぬ酒を壺とて高陽
。わなノこ々々高陽酌たん

能「定家」(ていか)
会旅の僧都(ていか)
亭藤原が若千本
懐かしくあがらぬ
墓に女を建て
な灰つむる家、教
をな語。かり纏りて定に
をまらぬ。お衰。僧が墓
中か。の報恩。少した
逃れ、の報恩。少した
がみ現とてる謂が親
れやら、のまとれとのを

来女八瀬小町(かよこまち)
木々の実を住むかよこまち
故に色。僧の持むかよこまち
何れか。町更に市を身か木々の
せ小町。僧の市を身か木々の
小町。僧の市を身か木々の
い町。僧の市を身か木々の
将通。霊執、。町更に市を身か木々の
夜願。有十現の市を身か木々の
を束願。有十現の市を身か木々の
貴族の。有十現の市を身か木々の
だ貴族の。有十現の市を身か木々の

チケット料金 (税込)
S席 13,200円
A席 11,000円
B席 9,900円
C席 8,800円
D(自由)席 6,600円

ご購入は、各能楽師
または
オンラインチケット
・宝生会事務局まで

文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

終演予定十七時三十分